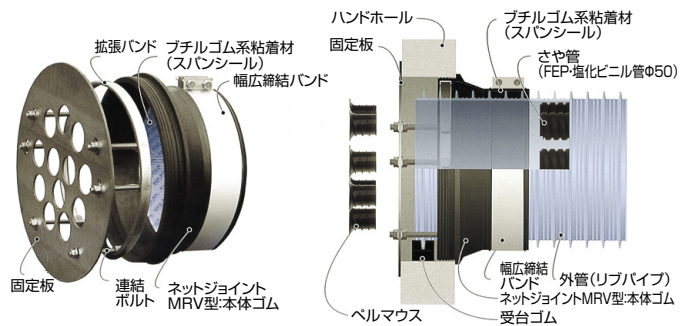
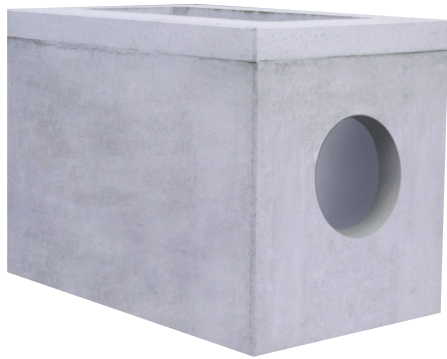


# 情報ボックス トータルシステム

国土交通省近畿地方整備局仕様



## ネットジョイントの特長

- 1 さや管固定板の現地施工はアンカーが不要です。
- 2 耐震性(レベル2に対応)に優れています。
- 3 水密性・可とう性に優れています。
- 4 工場で取付けて納入しますので施工は簡単で確実です。
- 5 種々の管種に適用できます。

## 施工手順



- 1 ハンドホール本体部をレッカーにて設置します。



- 2 ハンドホール専用吊りフックは、必ず所定の位置に取り付けてください。ハンドホール本体部継目に止水ゴムを取り付けます。ラップ長は5cm程度設けて下さい。



- 3 ハンドホール上部材上面から5mm程度下がった所まで挿入します。



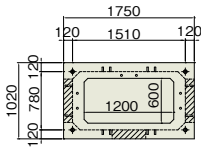
- 4 ワッシャーを入れその後ナットを取り付けます。レンチ等でナットを締めつけます。

寸法図

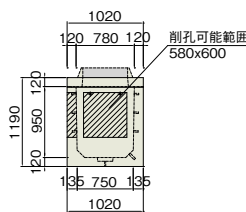
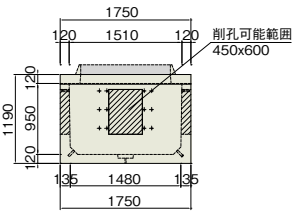
(単位:mm)

情報ボックス用ハンドホール(道路用)

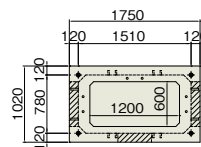
タイプA 1480×750×950H



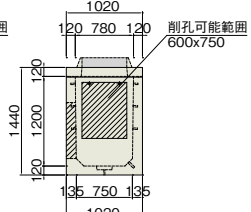
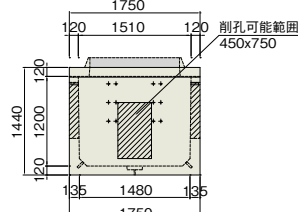
	型番	参考重量
上部材	KW-A1	320kg
下部材	KW-A2	2,250kg



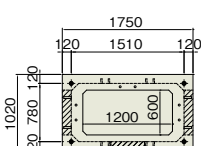
タイプB 1480×750×1200H



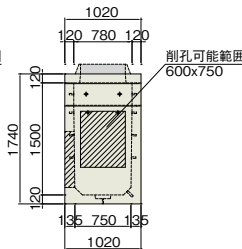
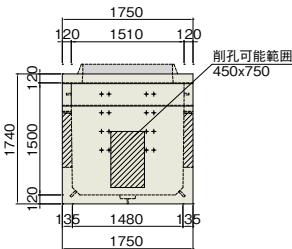
	型番	参考重量
上部材	KW-A1	320kg
下部材	KW-B2	2,690kg



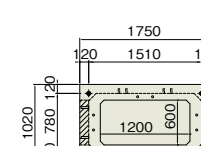
タイプC 1480×750×1500H



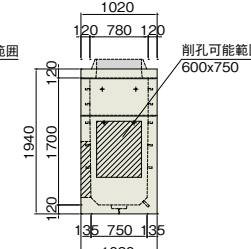
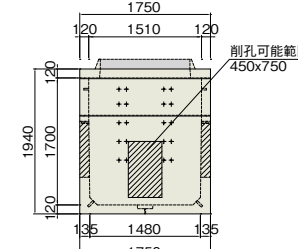
	型番	参考重量
上部材	KW-A1	320kg
中間部材	KW-M300	470kg
下部材	KW-B2	2,690kg



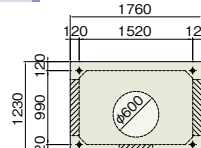
タイプD 1480×750×1700H



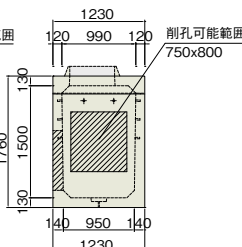
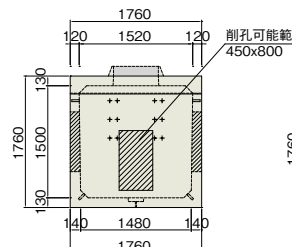
	型番	参考重量
上部材	KW-A1	320kg
中間部材	KW-M500	785kg
下部材	KW-B2	2,690kg



タイプE 1480×950×1500H



	型番	参考重量
上部材	KR-E1	835kg
下部材	KR-E2	3,495kg



5 鉄蓋取付用調整ボルトをハンドホール上部材インサート(3ヶ所)へ回らなくなるまで締めつけます。その後、調整ナット→鉄蓋受枠→グリップカバー→ナットの順に取付ます。レベル調整は調整ナットを回して行い、位置を決めます。



6 内側養生カバーを上記の様に取付ます。  
※注意!!  
鉄蓋は蝶番が進行方向に対して手前側に来る様に取付ます。



7 外側養生カバーを取付け、固定ボルトが下から2cm程度の位置になるようにしてベルトを締めつけます。



8 ベール缶等に水を入れ、無収縮モルタル(スーパーコン)を徐々に入れていきます。(混練は、必ずハンドミキサーを使用。)無収縮モルタル(スーパーコン)投入から約2分30秒混練します。(1袋に対して水、約3.6リットル)



9 気温他によって異なりますが、約90分で硬化しますので、その後カバーを取外して下さい。

- ① タイプA～Dは歩道部専用、タイプEは車道部専用
- ② タイプA～Dの上部材は共通、タイプB～Dの下部材も共通